

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時 令和7年9月5日（金）
 9：50～11：40
 場所 出雲市立斐川東中学校
 多目的ホール・1年生各教室
 指導者 埋蔵文化財調査センター職員5名
 斐川東中学校1年部教員6名

1 主題 斐川古墳や埴輪について知ろう

- 2 ねらい ○斐川町内の古墳や埴輪について知ること、地域の歴史や文化への関心を深め、ふるさとに対する誇りや愛着をもつ。
 ○はにわ作り体験を通して、古代の人々の生活や文化への理解を深める。

3 展開

時間	学習活動	指導者の支援
9：50～ 9：55 (5分)	1、学習の見通しをもつ。 ・本時のねらい ・講師紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいと流れを伝える。(中学校教員) ・講師を紹介し(中学校教員)、埋蔵文化財調査センターについて説明する(埋文センター職員)。
9：55～ 10：10 (15分)	2、斐川町内の古墳について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺の古墳について、写真や出土品を見せながら説明する。(埋文センター職員)
10：10～ 10：20 (10分)	3、はにわについて学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・はにわが作られた年代や作られた目的、当時使われていた材料などについて説明する。(埋文センター職員) ・はにわの種類や古代の人の工夫などを紹介する。 ・プリントを使いながら制作手順を説明する。 (・説明中に埋文センター職員が道具の準備をしておく。)
10：30～ 11：20 (50分)	(教室へ移動) 4、はにわ作り体験を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の様子を見回りながら、必要に応じて助言する。(埋文センター職員・中学校教員)
11：20～ 11：30 (10分)	5、学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数名の感想を聞く。(中学校教員) ・学習内容を振り返るとともに、今後のまとめの学習について説明し、見通しをもたせる。(中学校教員)
	(終了後、片付け)	

4 準備物

- 学校：プロジェクター、スクリーン、パソコン、延長コード、長机
- 生徒：筆記用具、新聞紙、水入れ
- 埋文センター：パワポデータ(DVD・USB)、出土遺物、粘土板、加工具、制作手順のプリント